

SHIMIN PHOTO

市民フォト

# 鹿児島



NO.71

平成10年1月1日発行

# やがまち 上空散歩

吉野上空から

ご覧の写真は吉野台地を北東から南西に見たものです。かつて山林や原野が広がっていた台地は開発が進み、農地や宅地にその姿を変えています。

写真右前に見えるのは吉野東小学校（手前）と吉野東中学校。両校とも緑に囲まれた静かな環境にあり、合わせて千二百人余りの児童生徒が勉学にスポーツにと励んでいます。

ホウレンソウやシュンギク、白ネギなどが栽培されています。皆さんの今夜の食卓にも吉野産の新鮮な野菜があがるかもしれません。

ところで、一月一日に市の吉野出張所が支所になりました。これにより窓口などで取り扱う内容の利便性も高まっています。

変ぼうを続ける吉野地区。十年後、二十年後はどうな街になっていると思いますか。

※現在、吉野支所管内の人口は約四万五千人です。



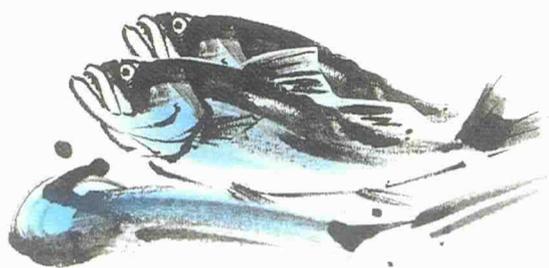
## CONTENTS

市民フォト鹿児島 (No. 71)	
【特集】青果市場・魚類市場	3
クローズアップ	
●大竹山武吉さん	12
ハロ―鹿児島	
●ヘレン・パールマンさん	14
シティーアングル	
●黄金色のあいつ	15
カメラトビックス	16
学校探訪●平川小学校	18
わたしの好きな場所	
●笹川理子さん	20
ふるさとの歴史探訪	
●単人の想いに迫る	22
あなたのフォトサロン	
●中村利徳さん	24
●よかタイム●永留進一さん	26
かごしまの自然	
●滝之下周辺にて	27
市民ギャラリー●城西公民館	28
誌上「市営施設見学会」	
●北部清掃工場・資源化センター	30
市立美術館●サッフォー	31

### ●表紙写真説明

冬の寒さを吹き飛ばす、スポーツ少年団の寒稽古。一生懸命練習した後に、手づくりのぜんざいが待っていました。お椀についてももらって、みんなおいしそうに食べています。さあ、今年も一年、頑張ろう！そんな、力強い声が聞こえてきそうです。

写真に登場してくれたのは、修道館柔道スポーツ少年団の皆さんです。



55万市民の台所として、新鮮な野菜や果実、魚介類を食卓に送り続けている中央卸売市場。青果市場では一日平均646トンの青果物を、魚類市場では一日平均124トンの水産物を取り扱っています。

市民の期待にこたえて、生鮮食品を安定的に供給する卸売市場、活気あふれる市場の様子を紹介します。

## 魚類市場

# 中央卸売市場

## 青果市場

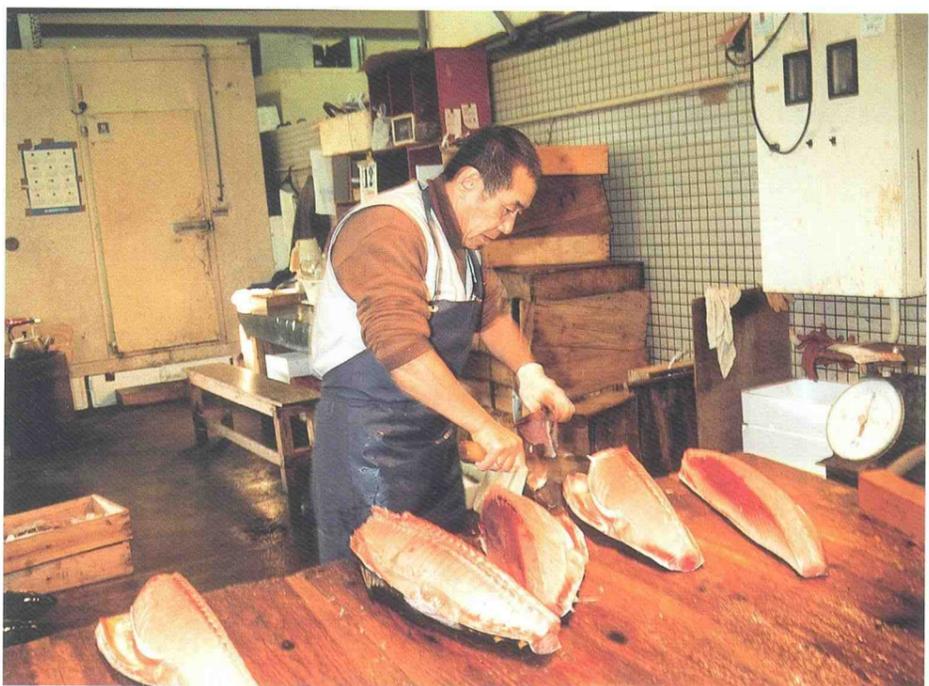




約2万匹のアジ



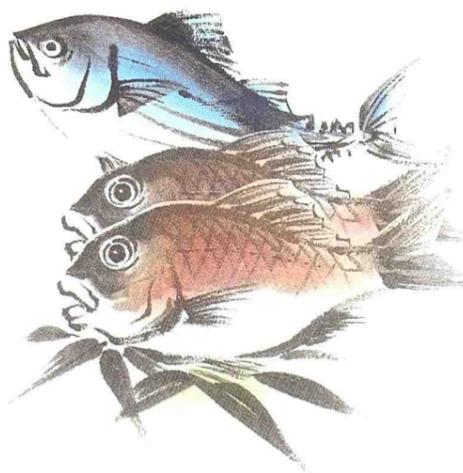
入荷した魚はまず計量



マグロは「解体」して店頭

# 魚類市場

城南町にある魚類市場。近海物から遠洋物、そして養殖物や輸入物などさまざまな水産物が入荷します。



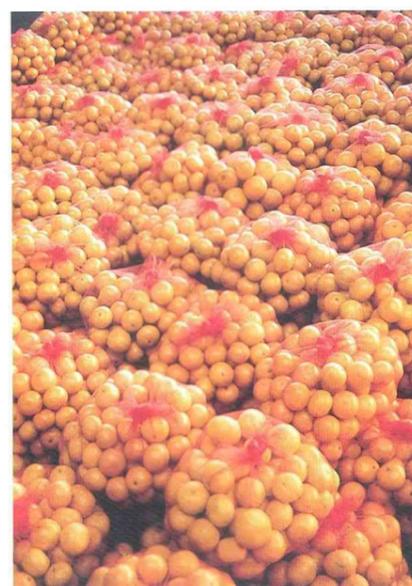
市場の運搬は手押しの台車で

■品目別取扱数量、構成比(平成8年次ベスト3)

品目	数量(トン)	構成比
冷凍魚	6,190	18.2%
マグロ類	3,904	11.4%
瀬物	3,427	10.1%



せり開始を待つ野菜や果実



ミカンのおいしい季節です



煮物、鍋物、漬物などに大活躍



市場内の運搬は電動三輪車やフォークリフトで

# 青果市場

東開町にある青果市場。地元鹿児島産をはじめ全国各地から、そして海外からも野菜や果実が入荷します。

■品目別・産地別取扱数量、構成比(平成8年次ベスト3)

## 野菜

品目	数量(トン)	構成比
キャベツ	21,695	16.0%
ダイコン	15,027	11.1%
ハクサイ	12,919	9.5%

産地	数量(トン)	構成比
鹿児島	67,253	49.6%
北海道	10,391	7.7%
長崎	8,914	6.6%

## 果実

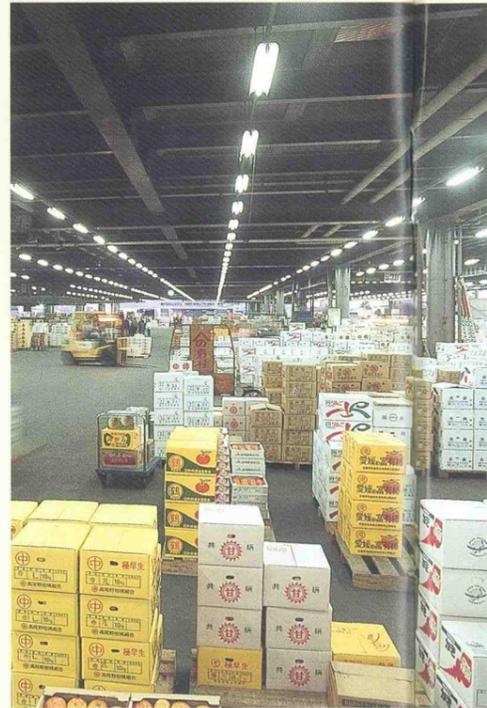
品目	数量(トン)	構成比
バナナ	4,007	10.6%
スイカ	3,860	10.3%
温州ミカン	3,545	9.4%

産地	数量(トン)	構成比
鹿児島	13,449	35.7%
外国	7,839	20.8%
福岡	3,509	9.3%

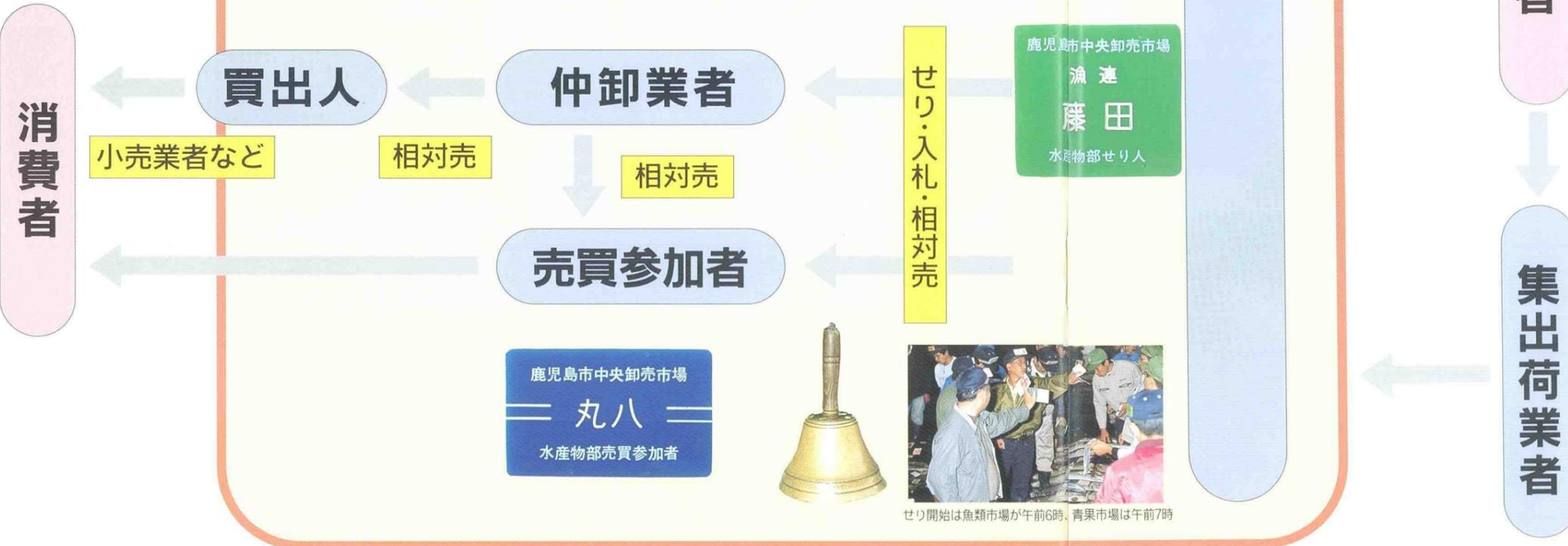
## 中央卸売市場(青果市場・魚類市場)



市場内にある仲卸業者の店舗



中央卸売市場の開設者は鹿児島市



せり開始は魚類市場が午前6時、青果市場は午前7時



遠く青森・八戸港からの陸送も

# 市場のしくみ



箱詰めして市場へ

### ことばの説明

- 開設者……鹿児島市が開設者で、施設の維持管理や業者に対する指導監督を行います。
- 卸売業者……農林水産大臣の許可を受け、生産者などから委託されたり買い受けた生鮮食品を、市場内で「せり売」「入札売」「相対売」の方法により、仲卸業者や売買参加者に販売します。
- 仲卸業者……開設者の許可を受け、市場内に店舗を持つ業者で、卸売業者から買い受けた生鮮食品を売買参加者や買出人に販売します。
- 売買参加者……開設者の承認を受け、仲卸業者とともにせり売などに参加し、卸売業者から生鮮食品を買い受けることのできる小売業者、スーパー、大口需要者などです。

# 市民の豊かな食生活のために

## 青果市場・魚類市場 ～市長に聞く～

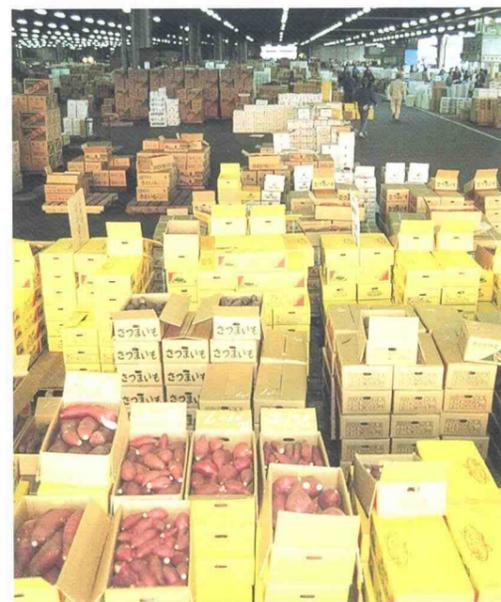
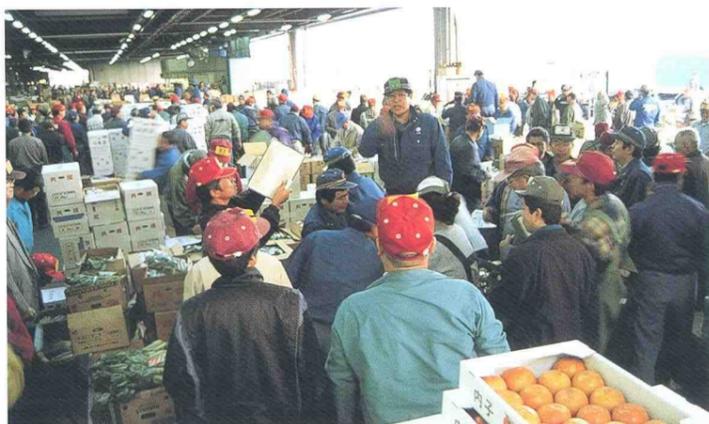


赤崎義則鹿児島市長

■ 市が設置している卸売市場、一番大切な役割は何だと思いますか。

卸売市場で大切なのは、市民の毎日の食卓に必要な生鮮食料品を、できるだけ安定的に、かつ適正な価格で供給することです。その意味で中央卸売市場は、五十五万市民の食生活とは切っても切り離せない関係にあると思います。

また、卸売市場は、生産者の方々がその生産した品物を継続的、安定的に販売する場でもあります。鹿児島市の中央卸売市場は、南九州の中核的市場としての大きな役割も持っています。



■ 個人的な話になりますが、食べ物に好き嫌いはありませんか。

特にありません。何でもよく食べるのでお陰でとても元気です。

食生活で心がけているのは、バランスよく食えることです。偏った食事を続けていけば、健康にいい影響を与えません。食事の時は、楽しく、おいしく食べるということをモットーにしています。

■ 最後に、これからの卸売市場に求められるものは何でしょうか。

市民の食に対する嗜好や関心は大きく変化しており、それに対応できる市場でなければなりません。さらに卸売市場は、消費者と生産者とを結ぶパイプ役として、生鮮食料品に関する情報を積極的に発信し、消費者、生産者の双方からの期待に応えていかなければならないと思っています。



# おいしい野菜料理

今夜の夕食の献立はもうお決まりですか。青果市場・魚類市場では、皆さんにもっと野菜や魚を食べていただきたいと思っています。これから紹介する料理、参考にしてください。

## 魚料理



左から2番目が花田校長先生

今回、料理をつくってくださったのは、花田みつ校長先生をはじめとする鹿児島クッキングスクールの皆さんです。先生は、魚類市場魚食普及協議会が主催する「おさかな料理教室」の講師を務めるなど、活躍されています。

### やばのなべ物

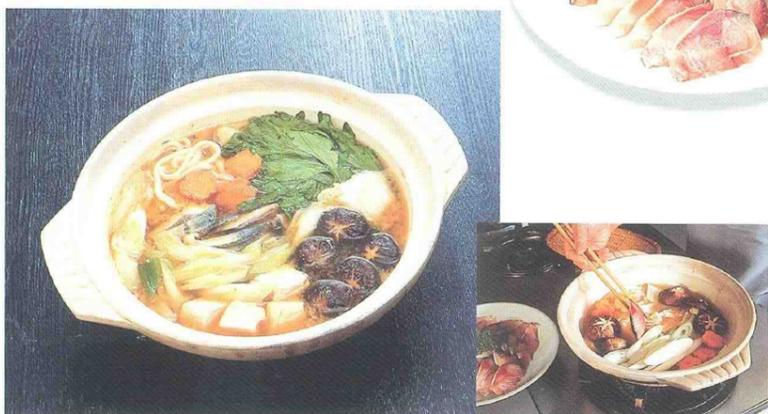
冬はやっばりなべ物。野菜や魚をふんだんに使って、家族でなべを囲んでみてはいかがでしょうか。

#### ■材料(4〜5人分)

- さば：一尾 ●昆布
- 調味料(みそ：120g、さとう：大さじ2、塩：小さじ1/2、しょうゆ：大さじ1、酒：大さじ2)
- みりん：大さじ2、しょうがすりおろし：少々
- 白菜：1/4株 ●ねぎ：2本 ●春菊：1束
- 生しいたけ：6枚 ●人参：2本
- 豆腐：1丁 ●うどん：2玉

#### ■作り方

- ①さばを三枚におろし、少し厚めにさしみに切ります。骨と頭は適当に切り、熱湯をかけて洗っておきます。
- ②水の入ったなべに、昆布とアラ(頭と骨)を入れ、沸騰させてダシ(5カップ)をとります。
- ③ダシを土なべに移し、準備しておいた調味料を入れ、一煮立ちしてきたら、さば、野菜、豆腐を入れます。そして、煮えばなをいただきます。
- ④残りに、うどんを入れて食べます。



### 鯛のうに焼き大皿盛り

ちょっとぜいたくに、大きめの鯛を使った料理はいかがでしょうか。

#### ■材料

- 鯛：一尾(塩：鯛の大きさによる)
- 練りうに：大さじ1(卵黄：1/2個、酒：小さじ1)
- 酒：大さじ1 ●大根の甘酢漬など

#### ■作り方

- ①鯛を三枚におろし、身は5cm角くらいに切り、正味の2%くらいの塩をしておきます。
- ②練りうにに、卵黄、酒を混ぜます。
- ③鯛の頭と尾をよく洗い、水分をふいて軽く塩をふり、あまり焦げないように焼きます。
- ④①の鯛をよくふいて、酒大さじを1ふりかけた後、オーブンや魚焼き器で素焼きにします。よく焼けたら、②のうにを塗り、乾くまで焼きます。
- ⑤器に、鯛の頭と尾を盛りつけ、上に④の鯛を並べます。最後に、南天や松を飾り、大根の甘酢漬などを添えます。



### きびなごの香味漬

鹿児島の代表的な魚、きびなごを使った料理です。

#### ■材料(4〜5人分)

- きびなご：300g(小麦粉：少々)
- にんにく：少々 ●しょうが：少々
- 赤唐辛子：1/2本 ●サラダ油：小さじ2
- 調味料(酢：大さじ3、しょうゆ：大さじ3、酒：大さじ2、ダシ：大さじ2、砂糖：大さじ2)
- 揚げ油 ●キャベツ、レタス、トマトなど

#### ■作り方

- ①きびなごを洗って水気をふき、小麦粉をまぶした後、カラリと揚げます。
- ②にんにく・しょうがはみじん切り、赤唐辛子は種をとって小口切りにします。
- ③小なべにサラダ油を入れ、にんにく・しょうがを炒め、赤唐辛子を加えます。調味料を入れて、一煮立ちさせます。
- ④揚げたきびなごを③につけてこみます。
- ⑤キャベツやレタス、トマトなどとともに盛りつけます。





# クロースアップ CLOSE UP

西鹿児島駅東口10番街区  
市街地再開発組合理事長

おお たけ やま ぶ きち  
大竹山 武吉さん

## PROFILE

【大正5年】市内武町(当時)に生まれる。【昭和21年】旧満州から帰国。西鹿児島駅前の再開発に取り組む。【昭和61年】西鹿児島駅東口10番街区市街地再開発準備組合を設立し、翌年計画作成。【昭和63年】県内初の再開発事業として都市計画決定。【平成9年】再開発ビル着工。【平成11年】再開発ビルオープン予定。

再開発の夢に取り組んで半世紀  
その明るい笑顔はどんな人の心も引きつける  
今、人が集まり、新しい街が発発しようとしている

刻々と変化する現代社会。新しい潮流を生み続けて止むことを知らない。

その中であって、終始変わらない夢と信念を持ち続けている人がいる。大竹山武吉さん。西鹿児島駅東口10番街区市街地再開発組合の理事長である。

大竹山さんは、西駅東口10番街区の再開発ビル着工を昨年十一月見事軌道に乗せたリーダー。再開発――

これはある時代に一度つくられた街を、再び新しい時代に合った街に作り直すこと。すでに人々の営みがなされている所に手を加えるのだからその大変さは言うまでもない。

「のんびりした性格だから、夢を持ち続けたいんです。」  
おだやかな明るい笑顔は、どんな人の心も引きつける。しかし、その行程はおだやかなものではなかった。

現在八十歳の大竹山さんが学生生活を終え兵役のため旧満州に向かったのが、六十年近く前。第二次世界大戦の最前線で十年近くの青年時代を過ごした。

「満州の大地は、十一月には全てが凍ってしまう。しかし、オンドル部屋は暖かくてね。」  
どうい苦境でも大竹山さんの話は明るさを失わない。

戦後二年目にやつと帰国を果たす。親族が西鹿児島駅前の地主であったことがきっかけで彼は、当地の再開発に人生の情熱を傾けることになる。

「当時の駅前には家が乱立し、路も狭かったんです。それで駅前にふさわしい整理ができないかと思っただけです。これが一個人でできるようなものではなくてね(笑)。」  
「でも、いったんやるといったのに逃げれば品が悪いから(笑)。」

以来、半世紀を超える再開発との格闘が始まった。  
その内、「行政の手を借りない」とできることではない。」と気づき役所通いが始まった。

「役所ではよくつばを飛ばしての口論になりました(笑)。でも筋を通し、数字を大切にすることなど学ぶことが多かったですね。」  
そして、昭和六十三年、県内初の再開発事業の決定を受けた。

「決定を受け、公的資金が投入されることになって、責任の重さにプレッシャーを感じることもありましたよ。」  
さらりと本音を言えるところも大竹山さんの魅力である。

順調に進むかに見えた計画の前に立ちはだかされたのが、バブルとその崩壊という経済の化け物。  
「キーテナントであるダイエーさんが経済情勢がきびしいとの理由で計画の変更を言ってきましたね。多くの議論を経て、徹底してスリム化したプランになったんです。」

しかし、結果的にこれで良かったと、大竹山さんは考えている。  
「バブルで浮かれたまま、計画を進めていたら、今頃どうなっていたか。環境の悪い時に気を引きしめて取りかかると成功するんじゃないでしょうか。」  
とはまさに金言。

再開発ビルの抱負については一日かけても語りつくせない。  
「ビルが出来上がって、屋上に登れば双方の正面に桜島と西鹿児島駅舎が見えます。鹿児島のシンボルになるビルにしたいんです。だから、テナントは、人が集まり

そこからふれあいと可能性の輪が広がるような場であって欲しいんです。」  
そして、今回のことを通じてつくづく感じたのが「人の和」。

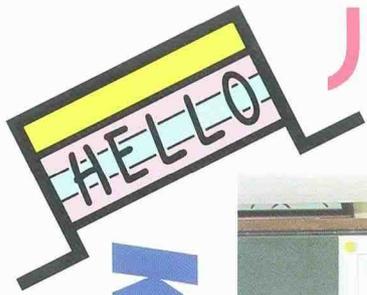
「みんなの心が一つにならないと何もできないし、楽しくないと長続きしないですね。」  
一人ひとりの市民の顔を思い浮かべるように話してくれた。

鹿児島の新シンボルとなる再開発ビルはいよいよ来年平成十一年六月にオープンする。  
大竹山さんの明るく飾らない笑顔はどんな人の心も引きつける。そして、今、人が集まり、新しい街が発発しようとしている。



西鹿児島駅東口10番街区  
再開発ビル(地上9階地下1階)  
～鹿児島市の勤労者交流施設も設置予定～

# ハロー-鹿児島



## KAGOSHIMA

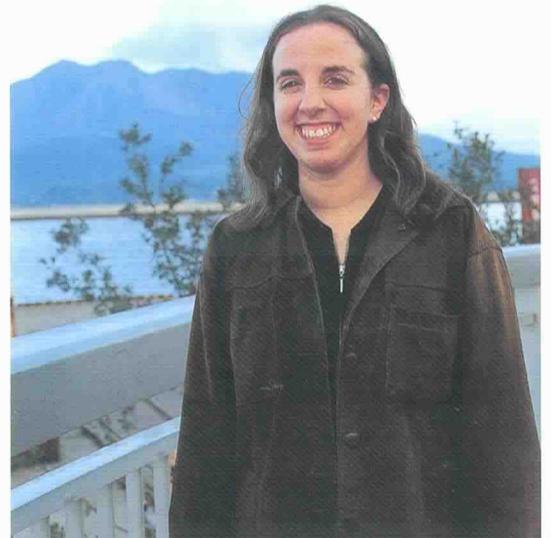


ヘレイン・パールマンさん  
〈アメリカ マイアミ市〉

Helaine R. Pur

黒板にアメリカ合衆国の地図を大きく広げ、出身地、家族について自己紹介しているパールマンさん。生徒たちも、質問に答えたり、生きた英語を楽しく学んでいます。

「鹿児島市の中学生は、元気があって、ひとなつっこいですね」とにっこり笑顔。彼女は、去年七月からALT(外国語指導助手)として市内の公立中学校で英語を教えています。出身地は本市と姉妹都市のマイアミ市。アメリカの大学で歴史を専攻し、日本の歴史や文化に興味をもったのがALTに応募したきっかけです。マイアミ市では、外国人に英語を教えていたこともあり、彼女の教える姿は堂々と、そしてユーモアたっぷり。積極的に話す生徒、少しはかみながら答える生徒など、さまざまですが、生徒の個性を生かしつつ楽しく教えています。



「鹿児島島の気候は、マイアミ市と似ていて、自分に合っています。とても過ごしやすいですね。雄大な桜島と、自然の豊かさにも感動しました。」

まだ、来鹿して間もないので、道で迷うこともしばしば。「通りがかりの人に尋ねたら、とても丁寧に教えてくれました。鹿児島の人々は親切ですね。心の温かみを感じます。これからも生徒だけでなく、多くの市民と心を開き、交流していきたいです。」

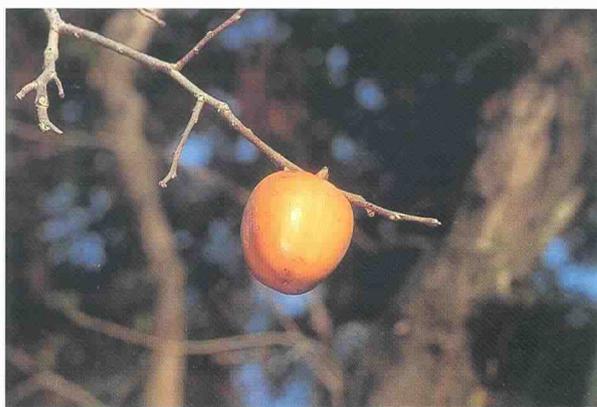
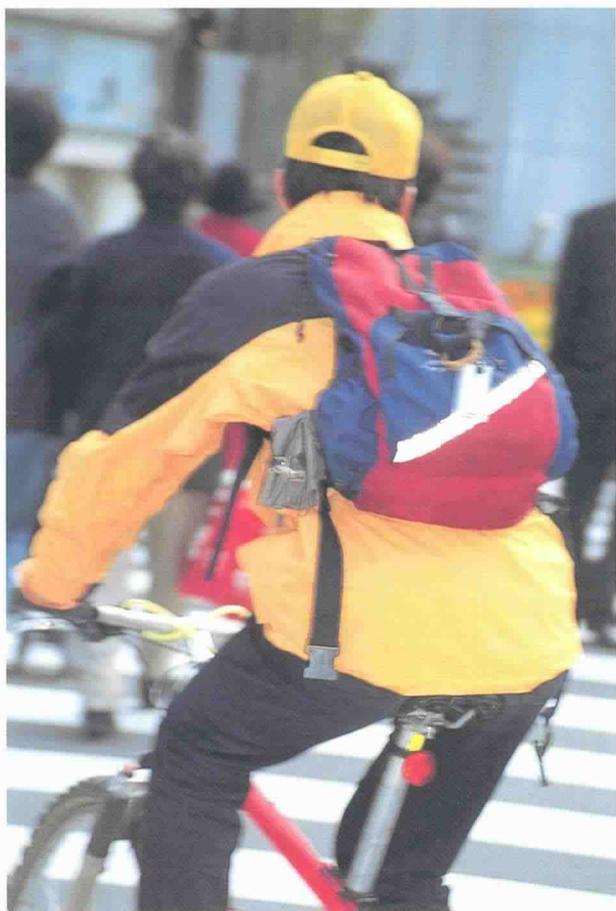
日本に滞在する間、いろいろな場所へ行って、文化、歴史を学びたいと意欲的なパールマンさん。太陽の光を受けたマイアミの青い海のように、さらさらと輝いている、そんなさわやかで素敵な女性でした。

# CITY

シティーアングル

# ANGLE

おうごん  
黄金色のあいつ





11月18日 東谷山福祉館移転新築

東谷山六丁目に建設中だった東谷山福祉館が完成、地元住民などを招いて開館式が行われました。今回の移転新築により館の機能も充実、子どもから高齢者まで幅広く利用できる施設となっています。

11月9日 第6回福祉ふれあいフェスティバル  
障害者、高齢者、ボランティアなどの方々と多くの市民が多彩な催しを通じて交流し、理解を深め合う福祉ふれあいフェスティバルが開催されました。コンサートや講演のほか、福祉機器の展示や車いすの体験コーナー、スポーツ交流などがあり、多くの人でにぎわいました。



10月23日 飯山橋完成

架け替え工事が進められていた甲突川の飯山橋が完成しました。新橋は、幅9メートルで、旧橋の2.5倍。歩道も整備され、人も車も通行がスムーズになりました。

また、12月18日には高麗橋が、20日には玉江橋も完成。甲突川の河川改修に伴う橋の架け替えは、平成10年度中にその大部分が終了する予定です。



10月中旬 都市農業センター四季の花園

慈眼寺公園コスモス園のコスモスが満開に昨年4月にオープンした両施設、秋には合計60万本のコスモスが開花し、多くの市民でにぎわいました。

季節の草花を楽しむことができる両施設、今春は、都市農業センターではナノハナが、慈眼寺公園ではルーピングが、皆さんのお越しをお待ちします。



11月23日 第12回市民生き生き健康フェスティバル

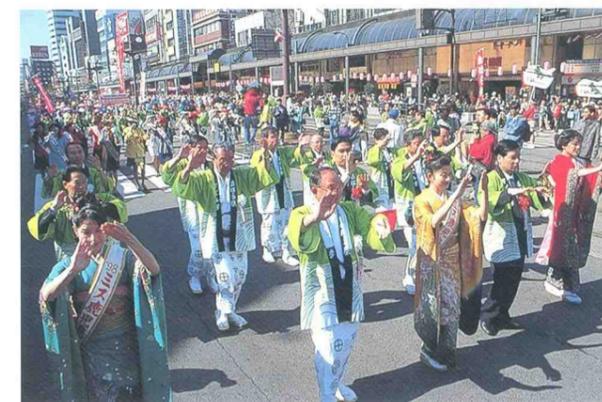
さわやかな秋空のもと、犬迫町の健康の森公園で市民生き生き健康フェスティバルが開催され、多くの市民が参加しました。会場では、ジョギングや健康体操で気持ちのいい汗を流す人、これまで体験したことのないニュースポーツに挑戦する人、フットサル、グラウンド・ゴルフなどの大会に参加する人で歓声の絶えない一日でした。



11月23日 第1回農業まつり

第1回の農業まつりが、犬迫町の都市農業センターで開催され、農産物の即売や市特産野菜の無料配布に人気が集まりました。また、そば打ちやもちつき体験など多彩なイベントを家族と一緒に楽しむ姿も数多く見られました。

# CAMERA カメラトピックス TOPICS



11月2日・3日 第46回おはら祭

南九州最大の秋祭り「おはら祭」が、250の踊り連、約22,000人の参加のもと、盛大に開催されました。踊りには、友好都市締結15周年を迎えた中国長沙市の友好訪問団も参加、習いたてのおはら節を軽やかに踊っていました。



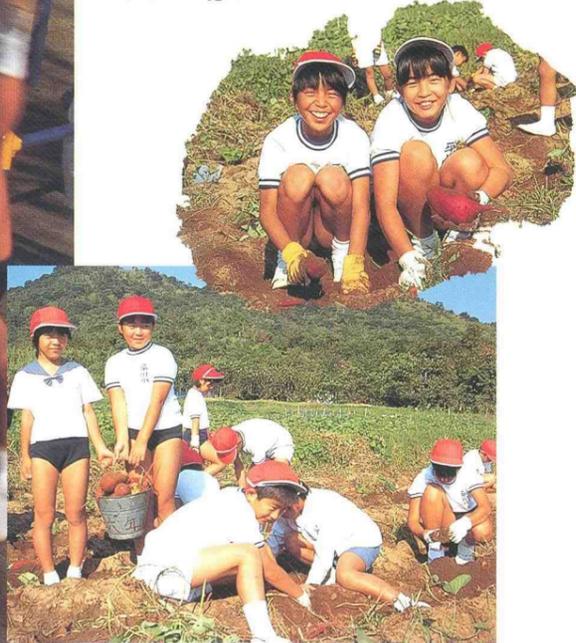
11月4日 ゆうあい福祉バス出発式

車いすのままバスの乗り降りができ、障害者がイベントやレクリエーションなどに利用できる「ゆうあい福祉バス」の運行が始まりました。皆さんの仲間づくりに役立つといいですね。



逆上がり 一、二の三でいっせいに！…アレレ？

「大きいね。」思わずニコリ



大きなおいがバケツにいっぱい  
～烏帽子岳学習農園

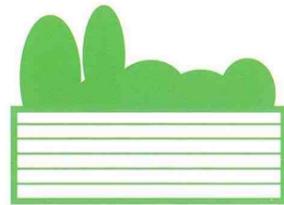


声高らかに歌う「イツ ア スモール ワールド」



なわとびで心も体もポカポカ

# 学校探訪



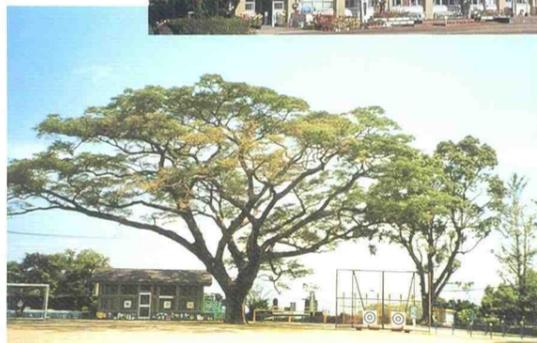
●創立 明治35年  
●児童数 78人  
(平成9年11月1日現在)



平川小学校

澄みわたる空のもと

のびやかな心を育くんで



緑豊かなセンダンの木 市の保存樹に指定されています。



国生先生はみんなのアイドル

楽しさいっぱい 平川小学校

六年 柁木 旭秀

ぼくたちの平川小学校は、児童数七十八人の小さな学校ですが、「つよく・かしく・心豊かに」の校訓のもと、みんな元氣よく楽しい毎日を送っています。  
平川は、鹿児島市の最南端に位置し、東には錦江湾と桜島をのぞみ、西には烏帽子岳がそびえ立っています。また、近くには動物公園や錦江湾公園があり、遠足などでよく利用しています。

平川小にはシンボルが二つあります。  
一つは、校庭の中にどっしりと立っているセンダンの木です。樹齢百二十五年の長寿の木です。一年中いつでもみんなを見守ってくれています。

もう一つは、卒業生が手作りで建てた、第五代校長の国生先生の像です。国生先生は平川にピワを広めた人です。おかげで、今ではピワは平川の特産品になっています。ぼくたちの給食にも、五月になると平川ピワが出されます。

このほか、ピクニック給食やサツマイモの収穫祭など楽しい行事がいっぱいです。海あり山ありの自然に恵まれた平川小で、ぼくたちはみんなのびのびと生活しています。



## 吹き抜ける風に 思い出を見つけて

弁護士

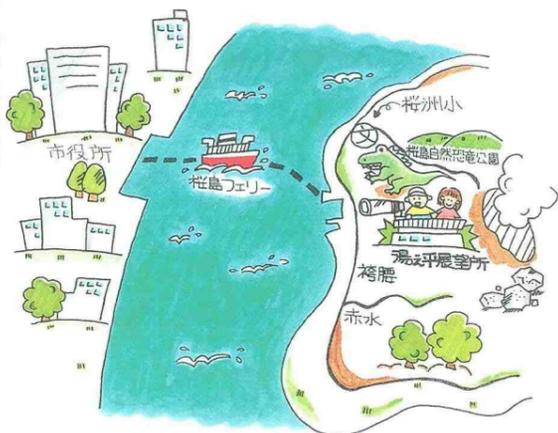
菅川 理子さん  
みちこ

# わたしの 好きな場所



桜島の雄大な姿に驚きました～湯之平展望所にて

### 湯之平展望所

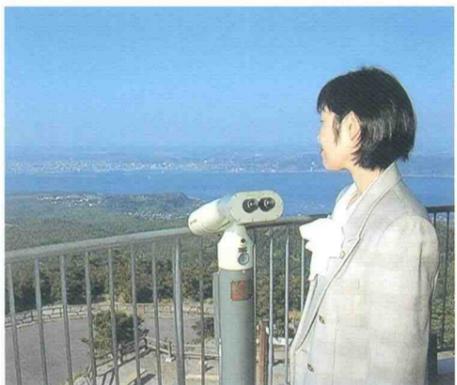


県外から友人が訪ねて来たときには、ここに案内することになっているんですよ。ここからは鹿児島市が一望でき、友人たちにも大好評の場所、そして私の思い出の場所でもあるんです…。

私は、鹿児島市で生まれたんですが、父の勤務の都合で小学生時代は千葉で過ごし、中学校入学のときに鹿児島に帰って来ました。だから、小さいころの鹿児島での記憶はほとんどなく、帰鹿し桜島を見たときに「何て大きいだろう、」って、びっくりしたのを覚えています。中学校を卒業して高校入学。高校へは自転車通学。それまでの徒歩通学とは違い、自分のこぐ自転車でもどこまでも行ける、そんな開放的な気分になりましたね。そんな気分のせい、まだ行ったことのない桜島を「自転車で一周しよう、」って思い立ち、友だちを誘ってやって来たというわけです。

袴腰でフェリーを降りると、溶岩の中を左回りに「桜島一周の旅」へと出発しました。しばらくは友人と楽しく会話をしていました。坂道の辛さに耐えかねて何と「一周断念、」。急きよ予定を変更して、こ湯之平展望所を目指すことにしました。もちろん自転車を上って来れるはずもなく、友人と二人、自転車を押しながらやって来ました。途中で工事現場のトラックの運転手さんたちに、励まされ

たりして…。展望所に着いたときには、眼前にそびえる桜島にびっくり／思わず疲れも忘れてしまうほどでした。また、振り向いて鹿児島市の方を見ると鹿児島島の海岸線の長さに驚きましたね。帰りは下り道。上って来るときと違って、ただ乗っているだけで自転車はどんどん加速していく…。景色が川のように流れ、たいへん気持ちよかったですね。今もここに来ると、そのころの自分に出会える、そんな気持ちになります。



鹿児島市の市街地が一望できます～湯之平展望所にて

### パース通り

高校生のとき、よくここを通りましたね。そのころは日曜日に、気が向くと友人と一緒に県立図書館に出かけていました。もちろん名目は勉強。朝、席を確保し、しばらくは机に向かってるんですが、お昼になると繁華街へ…。食事などして図書館に帰ると、「あつ」という間に夕闇が迫ってきて、「さあ帰宅」となるわけです。当時、唐湊に住んでいたのが、帰りは友人と「今日も楽しかったね」と話しながら、このパース通りを自転車をこいで家路を急いだものです。なつかしいなあ…。

また、司法試験を受験し始めてからは、この通りがさらに思い深い場所となりました。というのも…、ここパース通りは五月のころ、ツツジがきれいですよね。五月の第二日曜日は、司法試験の択一試験の日。福岡での試験が終わって鹿児島に帰って来て、大黒町にある叔父の法律事務所へと向かう道すがら、きれいに咲き誇っているツツジに見入っていました。そう、試験の結果を気にする私をほっとさせてくれた、それがパース通りのツツジだったんですよ。

今では私の通勤路となっている「パース通り」。寒い冬が過ぎると、またツツジがこの通りを彩る季節が訪れます。今年は、家族でゆつくりとツツジの花を眺めてみたいと思っています。



花壇の花に心が和みます～パース通りにて



パース通りのツツジ

### 取材メモ

菅川さんは、県立鶴丸高校から九州大学法学部に進学。卒業後、平成五年度の司法試験に合格。高校生のころから目指していた弁護士道へと進まれました。

現在は、叔父の山下勝彦法律事務所、夫の電伴（りようすけ）さんと一緒に、県内唯一の女性弁護士として活躍されています。

依頼者の笑顔を見たとき「少しでもお役にたてたんだ。弁護士になってよかったなって思いますね、」と笑顔で話してくださいました。

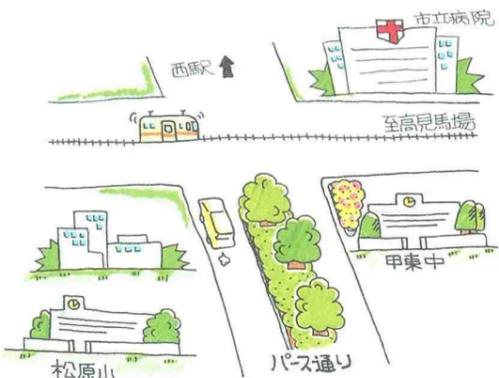
取材の間、笑顔を絶やさずことなく、気さくにお話していただきました。

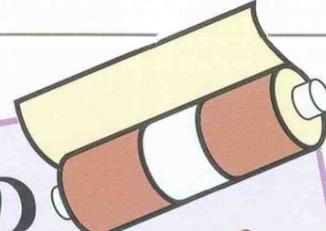
家庭に帰れば、一歳の女の子の母親に変身。多忙な毎日を送っていらっしゃいます。

鹿児島市出身。三十一歳。



吹き抜ける風が気持ちいいですね～パース通りにて





# ふるさととの歴史探訪

## いま、なぜ隼人か？

「地方の時代」と呼ばれて久しい。現在はまさに文化・経済ともに東京の一極集中から離れて、地域の都市が自前のまちづくりを進める時代。しかし、一方では地域の自主性に任される部分が多くなれば、都市間での格差が出てきてしまう。高齢社会の進展、国際ボーダレスがさらに拍車をかける。

都市間競争時代とも言うべきこの社会にあって、各地域のまちづくりには地域に合った特性が求められている。そのためにも、もう一度「鹿児島」を見つめてみる必要がある。

鹿児島らしさとは何か？その原点に隼人がいるような気がする。

はるか昔の古代、隼人の喜びと悲しみの向こうに見えてくるものを、このコーナーで追ってみよう。

## 隼人の想いに迫る



### 独自の文化を築きながら

ふるさと考古歴史館では9分間で隼人のあらしがよく分かる「誇りと勇気〜隼人・熊襲」を大型スクリーンで上映している。

◆ふるさと考古歴史館 TEL 266-0696  
下福元町3763-1 (慈眼寺公園内)

## 隼人の乱の真相とは？

七二〇年、南九州で最大の隼人の乱が起こった。彼らは、大隅国の国守(知事)を殺害し、庁舎を占拠したのである。直ちに大和朝廷は軍隊を派遣し、この「反乱」を鎮圧した。

隼人らは何故こんな物騒なことをしでかしたのだろうか。

その原因は稲作にあったのではないという推理がある。

当時の国際情勢を見ると、中国では唐が隋に次いで全国を統一、強力な政権を打ち立てる。それに刺激されたのが、日本。このままでは世界の国家統合の波に呑まれてしまうと、律令体制による自己基盤強化の全国支配を進めていく。

その鎖が八世紀に入ると隼人にまで及んでくる。律令とは、平たく言えば、戸籍を作り、人民に田んぼを貸し与え稲を作らせ、そこから税と軍隊を徴収するシステムであった。

当時の鹿児島はシラス大地のため、稲作は適していなかった。しかし、大和政権は稲作律令という絶対的な価値観を強制してきた。

## 夢を追いかけて

隼人の歴史を探るためには、書を置いて想像力一つで彼らの世界に飛び込むことが、案外に近道かも知れない。

隼人。それは稲作国家日本のもう一つの可能性であったかも知れない。

米がとれず、見渡す限りの平野部がない鹿児島島の地理は、極端に富を蓄えて権力をふるう支配者を育てなかった。

激しい火山と痩せた土地という厳しい



隼人の楯(復元模型)  
隼人が朝廷の儀式で用いた楯。カラフルで独創的な文様は強く我々の心に迫ってくる。  
~歴史資料センター黎明館蔵~

## 隼人とは？

隼人(はやと)って一体何者なんだろう。よく「薩摩隼人」と言う。イメージは、戦国時代から幕末にかけての勇敢な薩摩武士で、関ヶ原で敵中突破をした島津軍や西南戦争に散った西郷軍の面々。しかし、実際はどうなんだろう。

「隼人」は古代、南九州に生きた庶民のことを指す。時は7世紀後半から8世紀、万葉集と律令体制確立の時代。畑作や狩猟、漁労あるいは交易を生業として、火山を神としてあがめながらたくましく生き抜いた我々の先祖である。

また、一方では、大和朝廷の力が南九州にも及び、中央の画一的な生活スタイルと南九州独自の生活習慣との間で、振り子のように揺れ動かされた人々でもあった。

元々、隼人という言葉は、中央の大和政権側からの呼び名らしい。あえて、隼人という民族名っぽい名を使ったのは、大和政権と異なる文化風俗を持っていたからであろう。

では、彼らの生活とはどんなものであったのか。

それを解くかぎの一つが朝廷の儀式に残っている。清めの声として犬の鳴き声



ツン(薩摩犬)を連れておなじみ西郷さんの銅像(東京・上野公園)  
親しみをおぼえるのは、遠い隼人の記憶？

を発する役目を隼人は負っていた。犬との深い結び付きを感じるとともに、呪力を有していたこともうかがわせる。

犬との関係では狩猟が浮かび上がる。小さい起伏に富む、鹿児島島の山々では犬との連携プレーによる狩りがよく行われていたであろう。

また、呪力には自然神との強い関連性を感じる。自然のあらゆるものに霊を認め、その言葉に素直に耳を傾ける。その代償として、日々の糧を得る。大和政権の人々は、自分たちがいつか忘れてしまったその姿を見て、神聖な力を感じたのであろう。

当時の鹿児島は現在以上に火山活動が活発であった。桜島の噴火はもちろん、霧島、開聞岳なども活発な火山活動があったことが記録されている。大地をゆがらすような爆発と夜目にも鮮やかな赤いマグマの流出。

まだ、大地がゴムのようになめらか揺れ続け、この世の創造がなされていた時代、それらに神を見ながら、厳しい環境と融合し、たくましく生き抜いた隼人の姿が浮かび上がってくるのである。

条件の中で、力強くそして環境に合わせた日常生活をする人々の社会。

物質的には不安定でも、それは平等で結構自由な雰囲気だったのではないか。

朝廷で披露したという相撲や踊りは彼らの日常生活における精神面での豊かさを感じさせてくれる。

そして、可能性の扉はやはり海。彼らは進んで東シナ海に、南西諸島へと交易を結んでいったのではないか。

それをうかがわせるのが、遣唐船。そのルートは、博多、九州西岸、薩摩半島(秋目など)、種子島、屋久島、奄美へと続く。そう言えば、唐僧鑑真が着いたのも薩摩。

また、八世紀前後の薩摩と種子島は運命共同体的な動き(七〇二年、中央の記録に「薩摩・多岐、命に逆らう」とある)を見せている。隼人は未開な民ではなく、国際的な交易の場で活躍する海の民の側面も持っていたのではなからうか。

彼らが、現在のかごしま水族館を見れば何といったであろう。イルカプールのイルカたちへなつかしい表情を浮かべ、合図の海声を発したかも知れない。

隼人の人々には多様な価値観があり、また、自由があった。そして、何よりこの鹿児島島の山河と海を愛していた。

真に人間らしい社会がそこにあったのだ。

## 人

現在、鹿児島市は全国初の中核市として二十一世紀へ向けた新たなまちづくりを市民とともに進めている。

昨年は、かごしま水族館のオープン、世界帆船まつりの開催と海への可能性を再確認した。

また、今年一月にいよいよオープンするかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館。明治維新期をはじめ幾度となく日本の文化・歴史をリードしてきた鹿児島の文化を知ることができる。

海、文化、人の三つがこれから鹿児島市がさらに輝いていくために必要だとすれば、この三点をすべて満たしていたのが隼人であると言える。

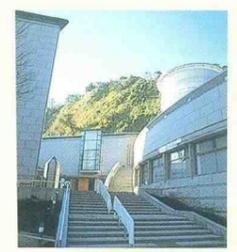
はらかな太古の口マンに思いをはせ、我々の先輩、隼人の息づかいを感じてみよう。

歴史に学ぶことは、今を生きることでもある。



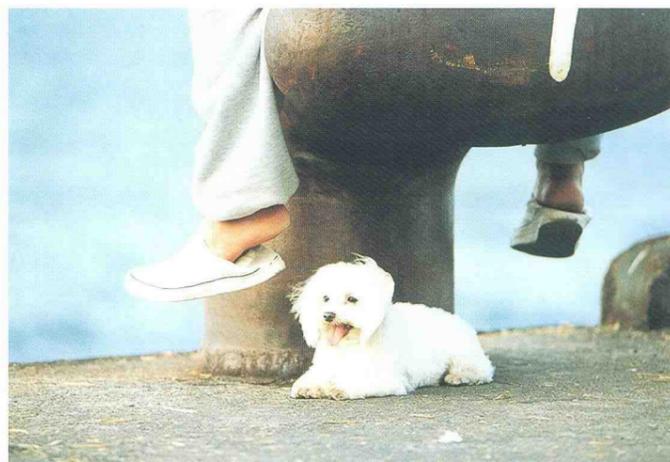
いおワールドかごしま水族館

## 海

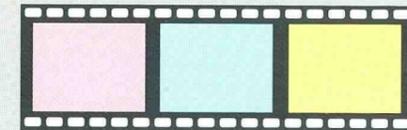


オープン間近のかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館

## 文化

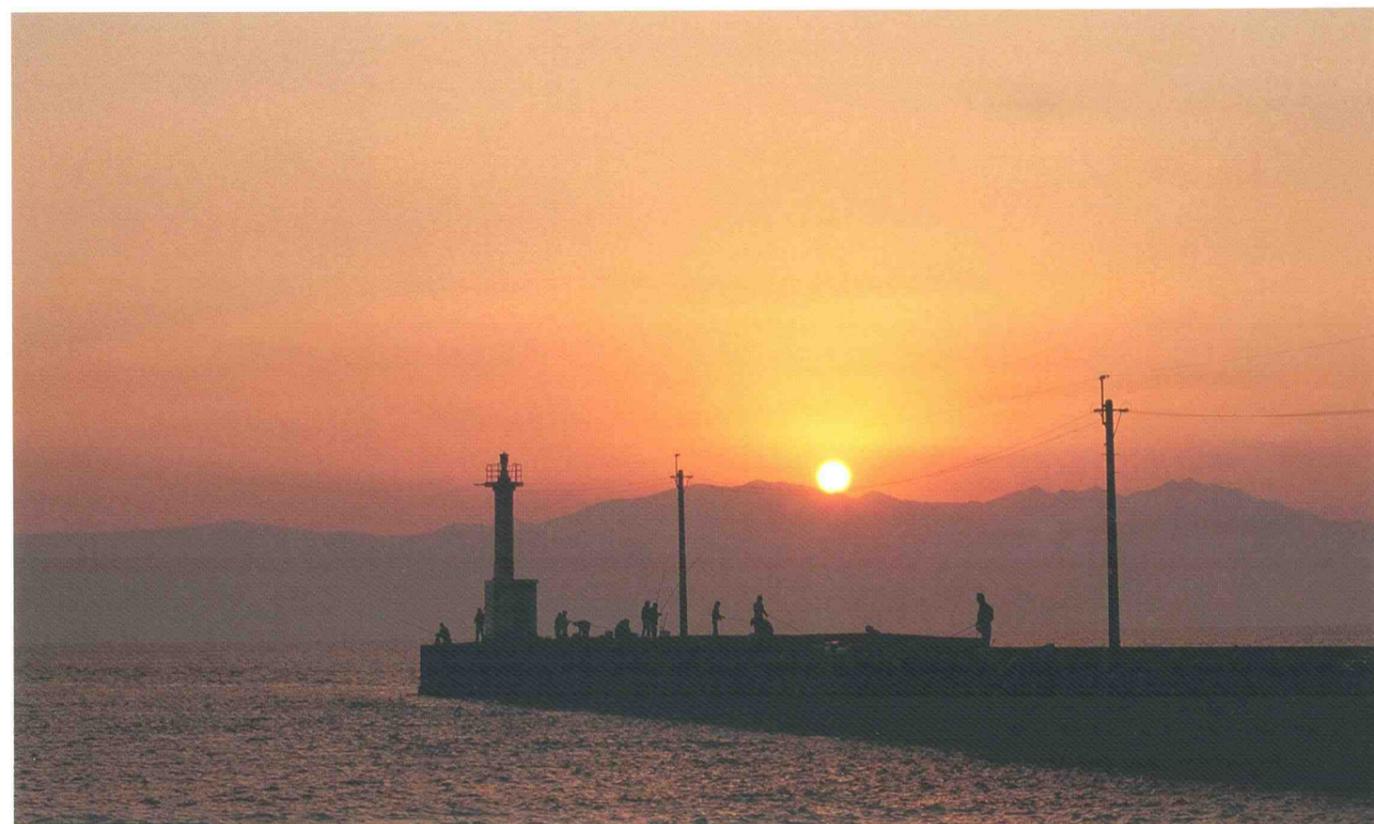


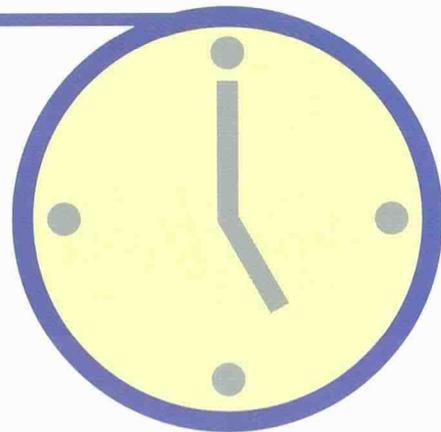
# あなたの フォトサロン



写真と文 中村 利徳さん  
「カメラ片手に」

休日になると、カメラ片手にぶらりと家を出る。  
それは自宅付近であったり、一日がかりであったり、自然の中の「あるがままの姿」を見つけ、「絵になるな。」と思ったらシャッターを押している。

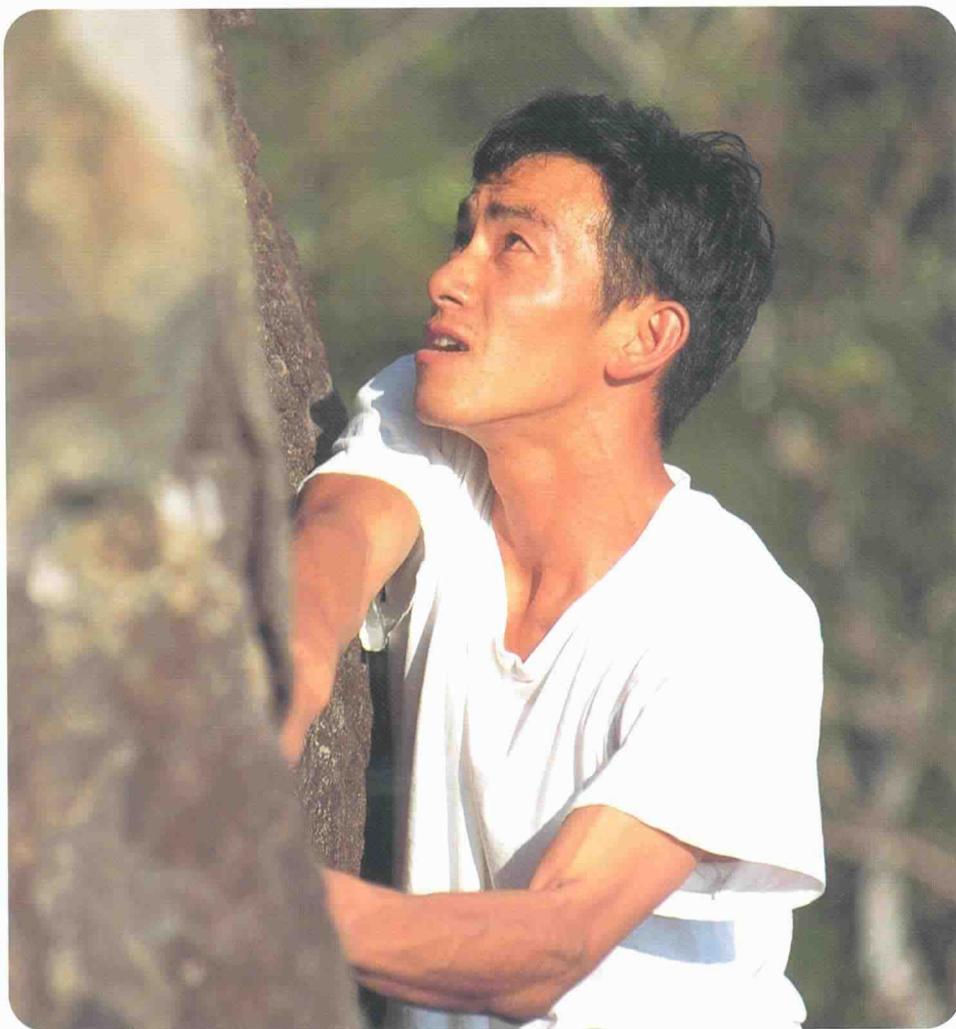




# よかタイム

フリークライミング

永留進 一さん



よかタイム

7つの質問

Q1 始めてどのくらいになりますか？

A1 ヒカ月位です。もともと登山をしていて、技術があればもっと高いところまで登れるのにも思っていました。雨さえ降らなければ毎週、仲間と岩壁に挑んでいます。

Q2 フリークライミングの魅力は？

A2 登れないような所を、素手で、自分の力で登ることです。無心に集中できる瞬間がいいですね。達成感がたまりません！

Q3 怖くないですか？

A3 ロープで安全を確保していますから大丈夫です。下はあまり見ませんけど：（笑）。適度の緊張感も気持ちいいですよ。

Q4 腕力がいいそうですね！

A4 力だけではなく、体の使い方が大事ですね。スポーツ感覚で、わりと手軽に楽しめますよ。

非常に難しそうなんですが：

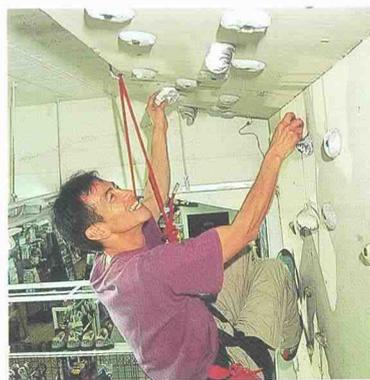
Q5 いろんな難易度のコースがあるの  
で、初心者でもチャレンジできま  
す。足の置き方一つで状況が変  
わってきますから、ベテランの  
人は、ラインを読み、無理なくきれ  
いに登っていきます。

Q6 先を読みながら登るんですか？

A6 僕なんかまだ、その場その場で、  
「これをつかみたい、登りたい」  
の一心で力まかせに登りますか  
ら、あと数cmが届かない！！ っ  
てもよくあります（笑）。

Q7 これからの目標は？

A7 難しい岩壁にチャレンジしたい。  
登れないと悔しいですね…。も  
っと練習して登りたい！ と思いま  
す。夏の北アルプス剣岳・標高  
三千mを目指します。



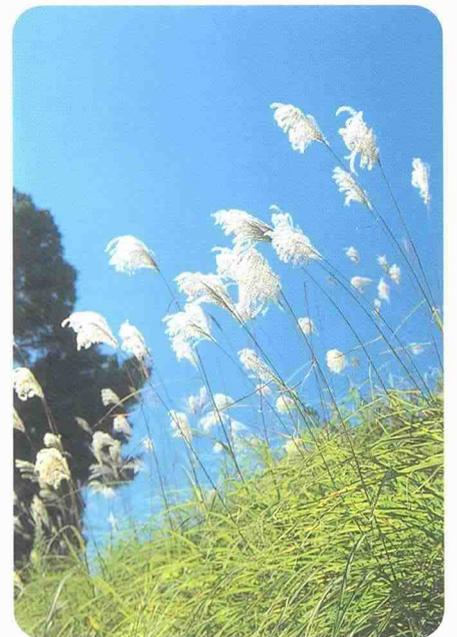
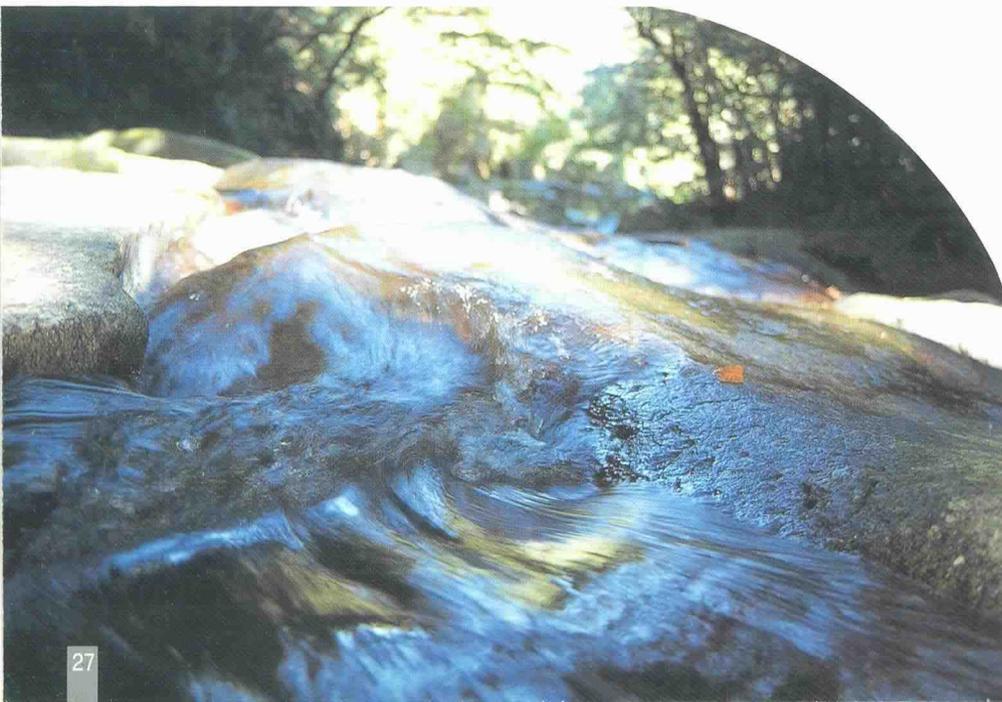
高さ3mの人工壁で練習

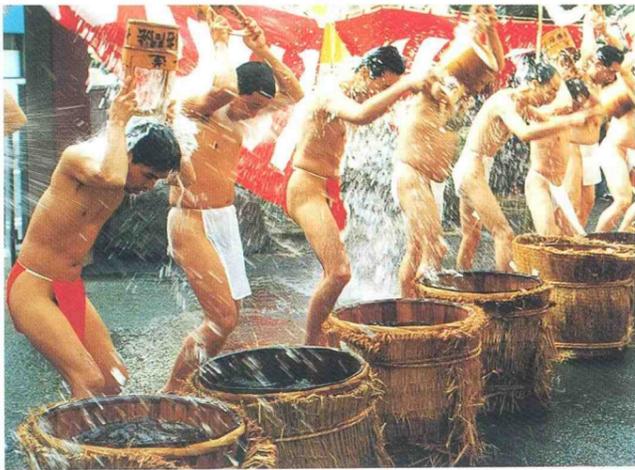
「こんなに夢中になるとは思ってもいなかった。」と永留さん。  
その酷使された手には、情熱があふれている。何度も限界を乗り越えようと岩壁に  
挑むその姿は、いつしか大自然のなかで巨大な岩と一体となる。まるで全身で感  
触を楽しむかのように体を岩の形に合わせながら、力強くも柔軟に登っていく。  
青い空にそびえる岩壁の先へと向かう、彼の熱い眼差しが印象的だった。



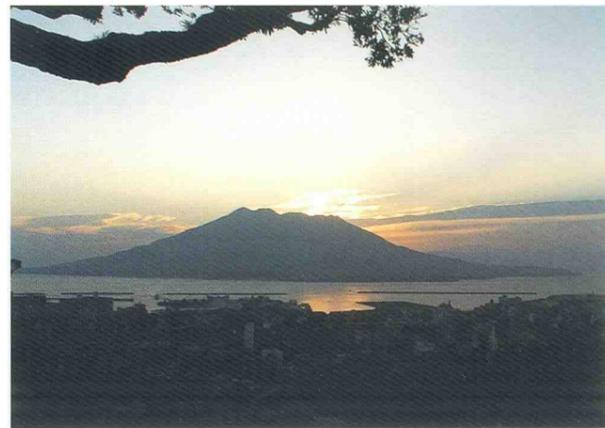
滝之下周辺にて

# かごしまの 自然





「水行」(松原町) 米田 尚史さん



「黎明」(城山展望台) 福永 正人さん



「出初め式」(甲突河畔) 町田 周子さん



「梅の道」(児玉美術館) 古川 トシ子さん



「翔」(吉松町) 今村 一馬さん



「遊」(生駒高原) 市来 幸子さん



「ぶどう」 島根 清さん



「薔薇の精」 小園 淳さん



「椿」 脇 兼盛さん



「鷲」 上福元 静夫さん

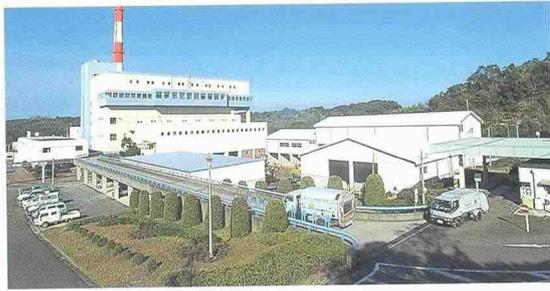
## 市民ギャラリー

# GALLERY

城西公民館・自主学習グループ

写真「城西写友会」は、樋渡直竹先生のご指導のもと、第一・三土曜日に活動しています。教室内で学んだ理論を戸外の撮影会で実践し、技術や感性を磨いています。皆さんの写真の世界は千差万別。「人に感動を与え、考えさせるような作品を目指し、それぞれが自分の心の眼を養っています。」と会長さん。熱心な会員ばかり現在四十九人。大型バスに乗り込んで行く撮影会は、遠足のように賑やかだとか。共通の趣味に集い語らう皆さんの瞳は、キラキラと輝いていました。ふれあいの中で広がる新たな世界、皆さんの作品をどうぞご覧ください。

今回は、城西公民館の彫刻「木彫りの会」と写真「城西写友会」の作品をご紹介します。彫刻「木彫りの会」は日高義雄先生のご指導のもと、毎週火曜日に活動しています。一枚の厚い板に向かうひと彫りひと彫りがイメージを作品化する道のり。思いがけず出てきた木目に悪戦苦闘したり、彫り方を迷ったりと大変なもの。会長さんは「だからこそ完成寸前の楽しさはひとしおです。」とのこと。現在、男性七人で活動。先生が基礎から懇切丁寧にご指導されるので、女性の方も安心してどうぞ。精巧な美を究めようとする真剣さの中に、木の肌のような温もりが満ちたグループです。



北部清掃工場外観



トラックスケールへ収集してきたごみを計量します



プラットホームへ収集されたごみをごみピットへ投入します



焼却炉へ24時間燃え続けています



ごみピットへ投入されたごみをクレーンで焼却炉へ



横井埋立処分場へ焼却後に出る灰は、北部清掃工場隣の横井埋立処分場(管理型)へ



中央制御室へ工場全体の状態を監視し、集中制御しています

# 誌上 市営施設 見学会

## ●北部清掃工場●

- 所在地 犬伏町11900 ☎238-0211
- 敷地面積 88,600㎡
- 焼却能力 1日 450トン  
3基の焼却炉があり、1基あたり24時間で150トンの焼却能力があります。
- 開設 昭和53年4月

施設概要



### 清掃工場からのお願い

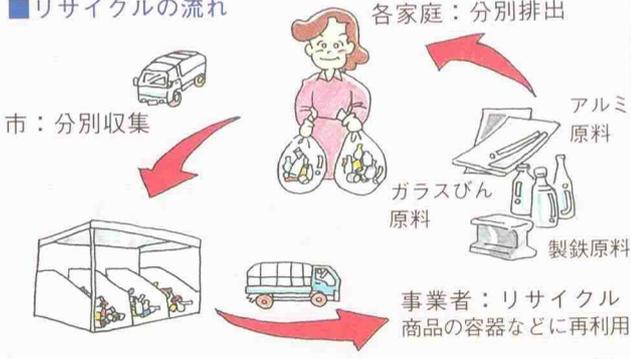
塩化ビニール、プラスチック類、ラップ、アルミオイルなどは、必ず「もやせないごみ」の日に出してください。



## 平成10年1月14日 缶とびんの分別収集開始

本市では、平成10年1月14日から全市域一斉に缶とびんの分別収集を開始します。現在、週1回「もやせないごみ」を収集していますが、分別収集開始以降は、このうち月2回が「缶とびん(飲み物や食べ物が入っていたものに限ります。)」の収集日になります。なお、缶とびんはまとめて一つの透明ごみ袋に入れて、ごみステーションに出してください。

### ■リサイクルの流れ



## 資源化センター開所

集められた缶・びんをリサイクルのルートに乗せるために「資源化センター」を建設し、この1月から稼働します。

資源化センターでは

- びんは 透明、茶色、その他
- 缶は アルミ、スチール

上のよう選別し、リサイクルのルートに乗せます。



資源化センター(北部清掃工場敷地内)外観

詳しくは清掃部管理課ごみ減量係(224-1111 内線2719)まで

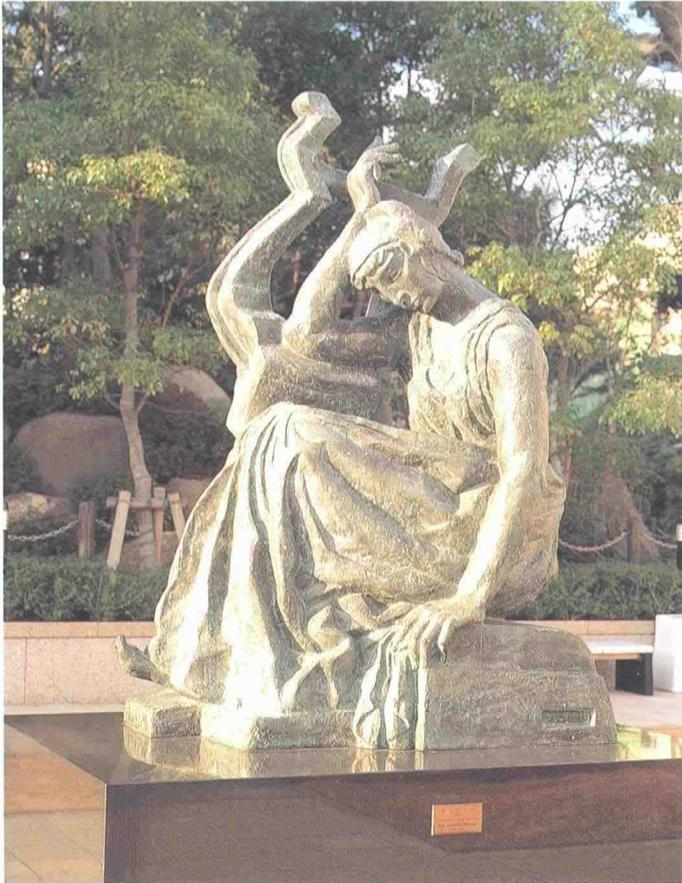
# 市立美術館

● サッフォー ●

(1925年)

ブロンズ

サイズ 高さ208.0cm×幅138.0cm×奥行85.0cm



エミール＝アントワース・ブールデル

(1861～1929)

ロダンの業績を踏まえ、近代彫刻の新たな道をひらいた彫刻家ブールデルは、南フランスのモンターバンに生まれた。注文の途絶えた木工家具師の父の仕事を手伝ううち、その才を認めた町の有力者の助力を得、美術学校で彫刻を学ぶ。ペーラーベンの連作を初め、多くの肖像や「弓をひくヘラクレス」・「ヘネローブ」などのダイナミックで構築性のある作品で広く知られる。彼は、彫刻の表面的でない、構成的で深い面の構築を大切にされた。それゆえ、建築的彫刻家と呼ばれる。また、ロダンのアトリエで15年間助手を務めたが、彼は師を賛美しつつ独自性を守り、たびたび助言も行っている。ロダンの「バルザック」の服の着想は、ブールデルによるものとの説が強い。ロダンもまた彼を認め、1900～1909年に制作したアポロンの頭部に深く感動し、もはや彼に伝えるべきことはない、2度と彼のアトリエを訪ねなかったという。彫刻の構築性に、あふれんばかりの感情を込め続けたブールデルは、1929年10月1日に病で世を去ったが、彼の没後もその作品は当代の芸術に影響を及ぼすことをやめなかった。

## ◎ 作品解説

サッフォーというのは、前

七世紀ごろのギリシアの女流叙情詩人で、レスボス島生まれのミューズ（女神）です。

その情熱的で哀愁に満ちた歌は大変評判が高かったそうですが、貴族の娘達を集めて、

詩や音楽を教えていたために、同性愛や悲恋の投身自殺など様々な伝説が生まれました。

ブールデルは、このような神話を、しばしば主題として取り上げています。月の女神「セレーネ」（一九一七年）

や「エロスをささげるバツカント」（一九二三年）など他にもいくつも見られます。しかし、彼はこのサッフォーには特に思い入れがあったようです。

それは、一八八七年にこの作品の三〇cmほどの小品を制作し、一九二四年に一m

前後の小品を、そして一九二五年に当作品の大きさに制作し一九二八年にサロンに出品

といった具合に、取りかからずから本作品の完成まで三八年

もの月日をかけていることからもうかがい知ることが出来ます。ブールデルは、彫刻内部

から迫ってくるような強い面の構築の中に、作品への感情を込めようとしていました。量

塊をダイナミックかつ繊細に積み上げるように構成されたこの作品は、ゆるやかで重い

リズムと強固な優美さを備え、建築的彫刻家の卓越した力量と情熱を感じさせます。

（市立美術館学芸員

野添 浩一）

# 1月1日 「吉野支所」 誕生



長年、地域の皆さんに親しまれてきた「吉野出張所」が、新たに  
移転、新築され、「吉野支所」として生まれ変わりました。

## 「支所」昇格に伴い、取り扱う業務内容も充実します。

- 吉野出張所で取り扱っていた業務は、引き続き吉野支所で取り扱います。
- 新たに取り扱う主な業務は、次のとおりです。

### ◆ 戸籍の届出関係業務

- 婚姻・出生届などの戸籍に関する届書の受理
- 除籍・改製原戸籍謄抄本などの交付

### ◆ 国民年金関係業務

- 保険料に関する諸届け
- 給付に関する諸届け

### ◆ 国民健康保険関係業務

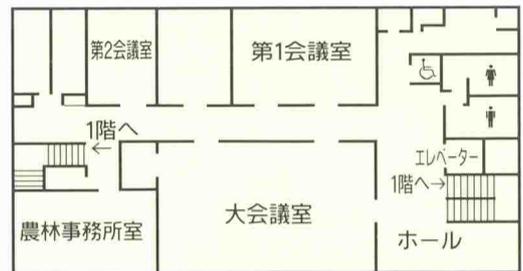
- 資格取得・喪失届の受け付け、保険証交付
- 出産育児一時金などの保険給付の手続き
- はり、きゆうなどの保健事業の手続き

### ◆ 市民税関係業務

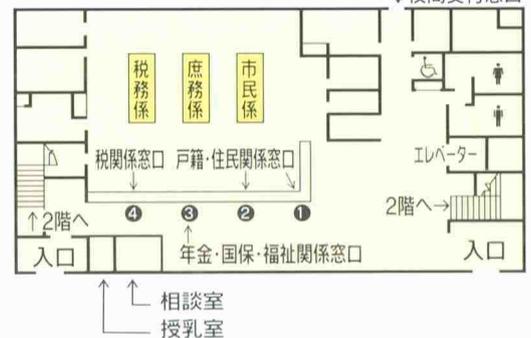
- 個人の市・県民税に関する事務
- 原動機付自転車などの標識の交付
- 公図・公簿の閲覧
- 市税の徴収、還付、納税の相談

### ◆ 吉野農林事務所（2階）

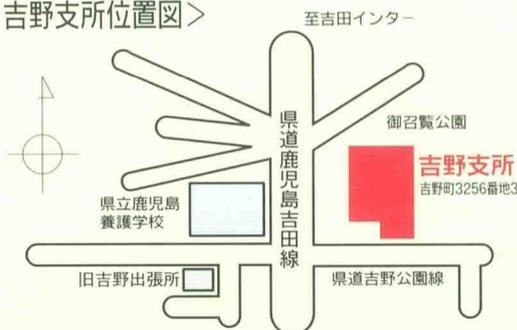
<2階フロア>



<1階フロア>



<吉野支所位置図>



新たな地域の拠点、そして、  
親しんでご利用いただける地域社会の  
ふれあいの場として…

吉野支所 (代表) ☎244-7111  
吉野農林事務所 ☎243-8746